

第400回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 平成21年4月8日(水) 午前10:30より

2. 開催場所 長野放送会議室

3. 委員の出席

○委員総数 9名

○出席委員数 8名

○出席委員の氏名(敬称略・委員は50音順)

委員長 宮本 忠長

副委員長 中村 重一

副委員長 松田 幸子

委員 大橋 俊夫

委員 小出 貞之

委員 小松 正俊

委員 塚田 芳樹

委員 中條 智子

4. 放送事業者側出席者

相崎 由松(代表取締役社長)

堀 眞一(専務取締役・報道局制作局担当)

関 義仁(取締役編成局・番組審議会担当)

松田 敏和(編成局長)

飯 嶋 憲彦(編成局編成部長兼視聴者室長)

山口 慶吾(番組審議会事務局長)

5. 議題

NBS月曜スペシャル

「山里の農地を守れ!～長野市坂中地区の人々～」

2008年11月17日(月)午後7:00～7:54

6. 番組の内容

若者の流出や高齢化などで耕作放棄農地が目立つ中山間地の一つである長野市坂中地区。豚の習性を利用した荒地の回復、遊休農地を使っての米作りや小学生のジャガイモ栽培体験、農家の生産意欲を促す直売所の運営など、住民が共同の力で農地を守り集落の再生に取り組む、元気でたくましい姿を描いた。

7. 審議の概要

- 坂中の人たちの頑張りや荒れ地を開発していくために共同作業をするというのはいいテーマだが、中山間地の農業をどうするかという問題からすると突っ込みが足りなかった。
- いかに関民が自分たちの手で活性化させていくか、住民が結束していくことが大切かなど、地域の再生という問題に対して一つの答えを示してくれた番組だった。同じ課題を抱える地域にも参考になった番組ではなかったか。
- インタビューしているディレクターの映像が欲しかった・
- 小学生のジャガイモの収穫の場面がなかったのが残念だった。
- 深刻なテーマを、全体にほのぼのと優しい柔らかなまとめ方をしている感じがした。しかし、農業を取り巻く多くの問題の中で、何を言おうとしたのか、ねらいが不明だった。
- 日本の農業を考えさせられるいい番組だった。
- 中山間地の農業問題だけでなく、社会問題、地域社会と農林業との関係を映し出していた。坂中の3年後、5年後がどうなっているか、第2弾の番組も検討して頂きたい。
- 豚の特性を生かした農地の回復や小学生の体験学習、野菜の直売、後継者問題などを縦糸として、季節感、風景を横糸に良く練られた作品だが、そこで止まってしまうのではなく、そこからオールジャパン的に通用するものを発信する視点が必要だ。